

平成二十二年
大村町恵比寿六月燈

大村町子ども会

劇「夏祭り」

《配役》

おなつ (女四人衆)	なつみ	(祭り人)	空
里紗	里紗	①	隆登
円花	円花	②	竜成
うらら	うらら	③	圭佑
うらら	うらら	④	春音
千花	千花	⑤	朋甫
家老	由聖	⑥	歩夢
家来	颯太郎	⑦	
黒駒の親分	幸弘		
子分①	翔		
②	琳太郎	ナレーション	みのり
③	祐大		
④	匠平	特別出演	知里
⑤	秀栄		
⑥	匠馬		

《あらすじ》

大村町夏祭りを控えたある日、家老の娘「おなつ」が、祭りの利権を楯に、黒駒一家にさらわれた。「おなつ」を救うために、藩内の屈強な「女四人衆」が立ち上がり、おなつ救出を図る。

《用意するもの》

祭りみこし、大うちわ、はかま(5)、刀(2)、はっぴ(7)、白鉢巻き(4)、投げ文、ピストル、酒気セット、千両箱(石ころ入り)

みのり

《幕前》
(知里の手を引いて、幕間から登場。「礼」)
これから、大村町子ども会の劇を発表します。その前に、来年から小学生になるお友達に、自己紹介してもらいます。

知里

私は、有川千代子のひ孫、有川成美の孫、有川奈美男の長女、有川知里と申します。来年から一年生になります。どうぞよろしくお願いいたします。

みのり

今年の大村町子ども会の劇は「祭り」という題です。大村町の夏祭りを前に、ご家老の娘がならず者に誘拐されてしまいました。誘拐された娘を取り返すために、勇猛果敢な四人衆が結成されました。果たして無事、娘を取り返すことができるでしょうか。(「礼」。幕間から引っ込む)

《第一幕》

(祭り人、威勢良くみこしを担いでせり出しから登場。舞台の上を一周する) さあ、みんな。今年の夏祭りはあと二日で本番だ。元気を出して頑張るぞ！ おおー！

ここで、士気を高めるためにみんなで自己紹介しよう。

ぼくは、大専小学校一年、北原空です。好きな勉強は〇〇です。将来は▽▽になりたいです。どうぞよろしくお願いします。

ぼくは、大専小学校一年、田原隆登です。好きな勉強は〇〇です。将来は▽▽になりたいです。どうぞよろしくお願いします。

ぼくは、大専小学校一年、時吉竜成です。好きな勉強は〇〇です。将来は▽▽になりたいです。どうぞよろしくお願いします。

ぼくは、大専小学校一年、宮脇圭佑です。好きな勉強はです。将来は▽▽になりたいです。どうぞよろしくお願いします。

わたしは、大専小学校一年、若杉春音です。好きな勉強は〇〇です。将来は▽▽になりたいです。どうぞよろしくお願いします。

この夏祭りは、何のためにやるんですか。

この夏祭りは、商売の神様「恵比寿様」をお祭りする大事な祭りだ。この祭りがうまくいけば、大村町の商売繁盛まちがい無しだ。

ぼくの家は、時吉ストアだ。商売繁盛だ！
わたしの家もYショップよ。商売繁盛だ！

ぼくの家は商売やっていないけど、商売繁盛だ！
何でもいいから商売繁盛だ！

(おなつ、上手から登場)

ご家老の娘さんだ。

おなつさん、ようこそ。みんな張り切っていますよ。

この夏祭りを盛り上げて、不景気風を吹き飛ばして頂戴。

朋甫 祭り人
歩夢 空
隆登 空
竜成 空
圭佑 空
春音 空
朋甫 空
歩夢 空
春音 空
圭佑 空
隆登 空
朋甫 空
歩夢 空
朋甫 空
歩夢 空
なつみ

朋・歩
祭り人

合点だ。おいみんな、もうひと稽古しようぜ。
(全員で元気よく)おおーっ!!
(みこしを担いで舞台を一周して、せり出しから下りていく)

《幕前》

(親分、翔、琳太郎、祐大、幕間から登場)

家老の奴、暴力団対策法とやらを振りかざして、今年の夏祭りから所場代
を取ることはまかり成らん、と言いやがった。

親分、年に一度のかき入れ時だったのに、これじゃ、黒駒一家は干上がっ
てしまう。

親分、我々若いもんは、首になってしまふんですか。

こんな年になると、おいそれと、いい職は見つからないぞ。

お前たち、腹をくくって黒駒一家を守る覚悟はあるか？。

(三人一緒に)あります、あります。

ならば、手は打ってある。家老一家をぶつつぶす！。

(下手から、おなつを縛って匠馬、秀栄、匠平が登場)

はなしなさい！はなしなさい！(と暴れる)

親分、捕まえてきましたぜ。世話の焼ける女だ。

取り巻きが多くて、難儀しましたぜ。

家老の娘をかどわかせば、厄介なことになりませんかね。

厄介どころじゃない。家老一家をぶつつぶすんだよ。

はなしなさい。あなたたち一体何者ですか。

これはこれはご家老様のお嬢様。(なめ回すようにじろじろ見て)おい、裏
の木の枝にでも縛り付けておけ。

(全員、幕間から消える)

(家老、上手から威張って登場)

(颯太郎、下手から慌てて登場)

ご家老様、ご家老様、一大事です。

何をそんなに慌てておる。一体どうしたというのじゃ。

実はおなつ様が黒駒一家にさらわれました。ここに投げ文が。

何？黒駒一家じゃと。(投げ文を読み)かねてより、ワシの進める上納金廢

止令に逆らっているとは聞いておったが……。おなつの命と引き替えに、

千両寄越せと言っておる。何とか手を打たねばならぬ。そうじゃこれ颯太

朗。(颯太郎に耳打ちをする)

わかりました。早速手配します。

(幕間から消える)

《第二幕》

(道場の中。女四人衆が剣術の稽古に励んでいる)

(頭巾をした家老と颯太郎登場)

ご家老様！稽古止め！。

里
紗

(みんな正座して)

ご家老様に礼!

ご家老様。ここは秘密の場所。滅多なことでは、男子禁制となっているはず。

実は、その滅多なことが起きたのじゃ。

その滅多なこととは一体なんですか。

ワシの娘おなつが、黒駒一家にかどわかされたのじゃ。

エッ、おなつ様が。一体どうして。

黒駒一家に上納金廃止令を出したのじゃが、それが気に入らぬと見える。

それで我々に、おなつ様を救い出せということですか。

そうじゃ。かくなる上はお主たちにすがるしかない。この際、黒駒一家を壊滅して欲しい。

聞くとところによれば、黒駒一家は短筒などの飛び道具も持っているらしい。我々としても、命がけで臨まねば、返り討ちに遭う恐れもある。

おなつ様は、夏祭りの日に生まれ、夏祭りをこよなく愛しておられる。

三日後の夏祭りまでに何とか救い出せばいいが。

ご家老様の命とあらば、我々一同命に代えてもお救いいたします。今少し、心の準備をさせてください。

頼んだぞ。

(四人、家老に礼)(家老、颯太郎は去る)

(四人おもむろに立ち上がって、真剣を使った稽古をする。幕)

《第三幕》

(黒駒一家の庭。酒盛りをしている。おなつは木に縛られている)

(見張りから駆けつけて)親分、家老がやってきますぞ。

そうか。丁重におもてなしするんだぞ

(家老と颯太郎が下手から登場。颯太郎は千両箱を重そうに担いでいる。)

御家老様、どうぞこちらへ。

おなつ、大丈夫か。取り戻しに来たぞ。

父上、悪人の言うことを聞いてはいけません。

これはこれは、元気な娘ごじゃ。御家老様。一献いかがかな。

(家老、杯を受ける)

ところで、約束の千両、お持ちいただけただけようじゃな。改めさせてもらう。その前に、おなつを頂きたい。

何を言うか。金が先じゃ!(子分共、強引に颯太郎から千両箱を奪い、親分へ渡す。琳太郎、翔が千両箱を改める。ゴロゴロと石ころが出てくる)

(中身は石ころ)何だこれは。黒駒一家をこけにするのか。おい、野郎共、家老と言えども構わん。殺せ。

(じりじりにじり寄る。颯太郎が両手を広げて立ちはだかるが、簡単に蹴散らす。短筒で一発。家老腕を押さえて倒れる)

(颯太郎はコソコソと舞台上手に行き様子をうかがう)

里紗
里紗

家老

うらら

家老

円花

家老

千花

家老

里紗

うらら

円花

千花

里紗

家老

家老

秀栄
親分

匠馬

家老

おなつ

親分

親分

琳太郎

家老

親分

親分

翔

親分

親分

琳太郎

家老

親分

翔

親分

今度は、心の臓をしつかりと狙うんだぞ。

四人衆

(まさに短筒の引き金を引こうとした、そのとき)
待ちなさい！(と大きな声で言つて、格好良く登場)

親分

何じやお前たちは。

里紗

大村藩、必殺女四人衆。悪事は許さん！

親分

何が必殺四人衆じゃ。構わん、皆殺しだ。者ども、かかれ！

親分

(短筒を突きつけられるが、うまくいかいぐぐつて短筒をはたき落とす)

親分

(チャンバラでドンドンやつつける。親分と、琳太郎、翔は、おなつを引

張り出して)

親分

おい、この娘の命はないぞ。刀を捨てろ！

親分

(にじり寄ってくる。四人が刀を捨てる。その時、舞台上手で様子をうかが

家老

つていた颯太郎が、飛び出し、おなつを家老のところへ連れてくる)

おなつ

(四人、刀を拾うと、翔、琳太郎、そして親分をめった斬り)

おなつ

皆さん、ありがとう。これで、夏祭りも賑やかにできるわ。

祭り人

おなつさくん！！

祭り人

(「ワツシヨイ、ワツシヨイ」とせり出しから登場。黒駒一家以外、みんな

祭り人

でみこしを担いで賑やかにもり上がったところで、ゆっくりと幕)

祭り人

でみこしを担いで賑やかにもり上がったところで、ゆっくりと幕)

《ファイナーレ》

(二列に整列)

全員

礼！大村町子ども会の自己紹介をします。

由聖

(二年生から順番に自己紹介)

由聖

これで大村町子ども会の劇を終わります。礼！

《終わり》